

加賀 蒔絵 と 京 蒔絵

2014.
10.14 火
11.3 月・祝

金沢美術工芸大学
美術工芸研究所展示室（図書館棟2階）

— 工芸教育の精華 —

【開館時間】 平日：9時～17時、
土曜日、美大祭期間（11月1日（土）～3日（月・祝））：9時～15時

【休館日】 日曜日、ただし11月2日（日）は開館します

【入館料】 無料

【展覧会についてのお問合せ】 金沢美術工芸大学美術工芸研究所
〒920-8656 石川県金沢市小立野5-11-1
TEL 076-262-3519

金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

京都・大学ミュージアム連携
University Museum Association of Kyoto



企画：京都工芸繊維大学アートマネージャー養成講座2013年度生 Step III
主催：金沢美術工芸大学美術工芸研究所、京都工芸繊維大学美術工芸資料館 協力：京都・大学ミュージアム連携
助成：文化庁、2014年度大学を活用した文化芸術推進事業
「大学ミュージアム収蔵資料を活用したアートマネージャー育成プログラム—大学ミュージアムによる高度学会員の育成—」

蒔絵は日本で独自に発展した漆工芸品の代表的な加飾技法です。蒔いて絵にするという名称のとおり、漆で文様を描き、その漆が固まらないうちに金銀粉などを蒔き付け、さらに漆で固め、研磨して仕上げます。蒔絵の技法は、平安時代に京都で花開き、鎌倉時代には平蒔絵や高蒔絵、研出蒔絵など代表的な技法が確立され、安土桃山時代には高台寺蒔絵が誕生しました。江戸時代には京都より金沢に招かれた五十嵐道甫（?-1678）により加賀蒔絵の基礎が築かれました。

江戸時代以降、京都と金沢は蒔絵の代表的な産地となりました。徒弟制度による伝統的な技法の継承は、明治期の近代化の影響のもと、学校制度による工芸教育に転換されていきました。本展では、それぞれの地で工芸教育を目的として設立された京都高等工芸学校と金沢美術工芸大学の蒔絵に関する教育を、両大学の所蔵品を通して紹介いたします。伝統文化の変革期における美術工芸教育に焦点をあて、明治期の京都高等工芸学校の浅井忠を中心とした図案教育と、戦後に開校した金沢美術工芸大学の名工による近代蒔絵と新たな技術に関する教育の一端をご覧くださいます。両大学の蒔絵という伝統における継承と革新への試みを感じていただけたら幸いです。

本展は、文化庁2014年度大学を活用した文化芸術推進事業に採択された「大学ミュージアム収蔵資料を活用したアートマネージャー育成プログラム—大学ミュージアムによる高度学芸員の育成—」における京都工芸繊維大学アートマネージャー養成講座2013年度生7名が企画いたしました。

本展開催にあたり、貴重な作品をご出品くださいました京都市立芸術大学芸術資料館、ご所蔵家の方々、京漆器 象彦、株式会社パイロットコーポレーション、株式会社 KARAFURU に感謝の意を表します。

2014年10月

金沢美術工芸大学美術工芸研究所、京都工芸繊維大学美術工芸資料館

シンポジウム「加賀と京都の漆芸—変革期における工芸教育—」

加賀、京都という漆器の大きな生産地において、明治と戦後という変革期における漆芸教育がどのように行われたか、また、それぞれの変革期において、両地における蒔絵・漆芸の伝統の継承、技術の開発、製品の普及について明らかにしたいと思います。

開催日時：2014年10月13日（月・祝）13:30～17:30

開催場所：金沢美術工芸大学視聴覚教室（本館棟2階）

入場無料、定員100名（申込不要）

13:30～13:40 開会挨拶・趣旨説明

13:40～14:10 「近代京都の漆芸—京都高等工芸学校とその周辺から—」
中尾優衣（京都国立近代美術館研究員）

14:15～14:45 「近代京都における漆芸の位置」
並木誠士（京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長）

14:50～15:20 「加賀蒔絵の近代と戦後の漆芸教育」
山崎剛（金沢美術工芸大学教授）

休憩（15分）

15:35～16:30 ディスカッション

16:40～17:30 「加賀蒔絵と京蒔絵—工芸教育の精華—」展の見学

【会場】

金沢美術工芸大学美術工芸研究所展示室（図書館棟2階）

【交通アクセス】

*学内の駐車スペースが少ないため、できるだけ公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

バス（北鉄バス）

JR金沢駅バスターミナルから次の系統のバスにご乗車いただき

小立野バス停下車（乗車約25分、下車後徒歩約8分）

●東口バスターミナル3番のりば：11番系統、12番系統、16番系統

●東口バスターミナル6番のりば：13番系統、14番系統

●西口バスターミナル5番のりば：10番系統

ふらっとバス（市内循環バス）菊川ルート

①香林坊ご乗車いただき②小立野下馬下車

（乗車約25分、下車後徒歩約5分）

タクシー JR金沢駅から約20分

【展覧会についてのお問合せ】

金沢美術工芸大学美術工芸研究所

〒920-8656 石川県金沢市小立野5-11-1

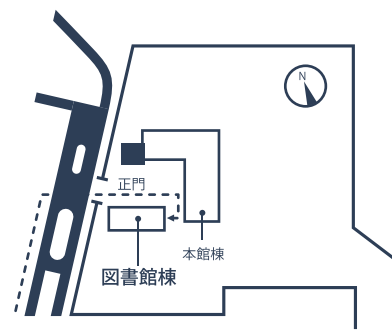
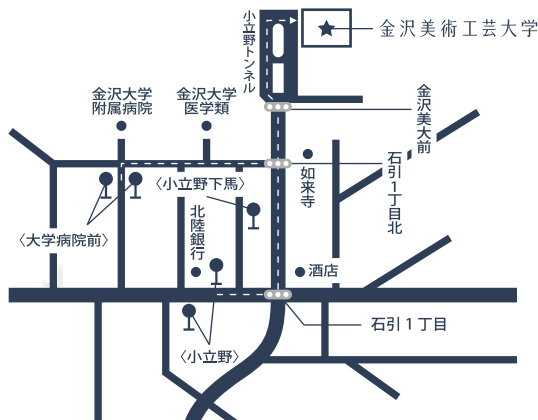
TEL 076-262-3519 <http://www.kanazawa-bidai.ac.jp/>

【アートマネージャー養成講座についてのお問合せ】

京都工芸繊維大学美術工芸資料館

〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町

TEL 075-724-7924 <http://www.museum.kit.ac.jp/>



バス停〈小立野〉へ



金沢美術工芸大学
KANAZAWA COLLEGE OF ART

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES



加賀蒔絵と京蒔絵

— 工芸教育の精華 —